

ファン集い語り楽しむ

ゆかりの松之山で安吾まつり

男 網 さん 演 講 網 講

「坂口安吾まつり」の長男綱男さんの話を18日、新潟県十日町市松之山の大棟山美術博物館(旧村山邸、十日町市指定文化財)で開催され、各地の安吾ファンが集って安吾作品の語りや桐生生まれ

山家は安吾の叔母と姉が2代続けて嫁いだ縁で、若き安吾が戦前にたびたび逗留(とうりゅう)。「越の露」醸造元でもある。「まつり」は松之山朗読会メンバーによる

民話の朗読が始まり、開会式では地元十日町市の関口芳史市長、安吾生誕の地・新潟市の中原八一市長、終焉(しゅうえん)の地・桐生市の荒木恵司市長の3市長メッセージが読み上げられた。新潟は今秋の国民文化祭の開催県であり、十日町と新潟市で安吾をテーマにしたイベントが予定されている。

坂口綱男さんは下戸ながら「新潟の酒」と題して講演。父安吾の作品世界の多彩さ広範さを紹介し、「酒」に関して安吾が蔵元の義兄を作家仲間の尾崎士郎に紹介、「一斗十円」で大好評でもうけになったかどうか、などと語っていた。昨年3部が語り。昨年

華山の足跡たどろう

上電友の会が10キロハイイク



上毛電気鉄道に乗りつつ、歴史的名所などをめぐるイベント「第9回上電友の会ハイキング」がこのほど、桐生・みどり両市で開催された。今回は幕末期の武人画家の渡辺華山が両市周辺を散策し、風景をスケッチした際のルートをたどる約10キロのハイキングを行った。

上電友の会は、上電の活性化を目指して活動する団体。地元をは



華山の足跡をたどる参加者たち(水道山公園で)

ファンが会員となって渡辺華山(1793~1841年)は幕末期の田原藩(愛知県田

昭和公民館で来月ラフターヨガ教室
講師は栗田さん

昭和公司は6月12日午後1時半から、三ツラフターヨガ教室を開く。桐生市在住・在勤者を対象にした成人講座。講師は栗田さん

申し込みは6月4日午前9時から同館(電話43・6056)で受け付ける。先着順で20人。

原市)藩士で、画家、洋学者。妹の茂登(もと)が桐生に嫁いだ縁で天保2年(1831年)秋に桐生周辺を訪れ、名紀行文「毛武游記(もうぶゆうき)」と多数のスケッチ画を残している。

ハイキングには桐生市内の華山愛好家たちでつくる「華山と歩く会」(岡田幸夫代表)が協力。西桐生駅をスタートし、華山がまちなみを見渡しスケッチを残した場所である雷電山(水道山公園)や小倉峠などを約20人で歩いて回った。



語りの加藤翠さんとベースの小野章さん

明
暗
だより

21日本社調べ

出生

(出生者氏名、性別、住所、父または母の名)

盛合菜月ちゃん(もりあい・なつき、女、桐生市新里町新川、陽介さん)

天川太佑ちゃん(あまがわ・たすく、男、桐生市新里町新川、哲也さん)

原口みくりちゃん(はらぐち・みくり、女、桐生市境野町五丁目、啓一さん)

おくやみ

中澤尚造さん 88歳

(なかざわ・しょうぞう) 桐生市菱町五丁目。20日病気のため死去。元中屋商店店主。通夜22日午後6時桐生メモリアルホール(桐生市本町六丁目)で。告別式23日午前11時桐生メモリアルホールで。